

2022 年度実施概要

学校名

気仙沼市立唐桑幼稚園

採択活動名

唐桑・気仙沼大好き！～自分たちが住む地域の良さを知ろう！～

実施単元 ※実施した単元の数に応じて記載してください

単元名	学年	教科
1. 海洋幼稚園こどもサミットin小泉海岸	年長児	
2. 松園幼稚園との交流会	全学年	
3. 魚の解体ショー	全学年	

取り組みの概要

・ねらい

- 様々な視点から海に親しみ海の魅力に気付いたり、海の秘密を発見したりする活動を工夫していくことで、幼児の興味や関心を広げ、好奇心を育てる。
- ・海への興味・関心を広げながら、友達と気付きや不思議さを共有し、体験を遊びにつなげていく。
 - ・海で働く人と関わったり海の幸を食べたりすることを通して、働く人への親しみや憧れの気持ち、海の恵みに感謝する気持ちをもたせる。

◎活動内容

(1) 海洋幼稚園こどもサミットin小泉海岸

小泉幼稚園児から砂浜での遊び方を教えてもらい、生き物探しや穴掘り、海藻集めなどを楽しんだ。唐桑の海との違いに気付き、他地域の海への興味・関心につながった。その後も他園の友達との交流を楽しむようになった。また、年長児の報告を聞き、年少、年中児も砂や海藻などに興味・関心をもち、自分たちも他地域の海へ行ってみたいという気持ちをもった。



海岸で遊んでいる様子



年少・年中児に報告をしている様子

(2) 松園幼稚園との交流会（御崎神社への遠足）

松園幼稚園の友達と一緒に特別に本殿まで入れてもらい、神主さんから説明を聞いた。御崎神社には海の神様がいて、そこで大漁祈願をしているなど海との関係が深い神社であることを知ることができた。一緒に地域の自然環境に触れ、親しんだことで興味・関心を共有することができた。



拝殿に入れてもらった様子



本殿で神主さんの話を聞いている様子

(3) 魚（マダラ）の解体ショー

日頃から魚と関わる仕事をしている板前さんに、海の市の見学の時に見てきた「マダラ」を、目の前で捌いてもらい、内臓などを見せてもらった。幼児たちなりに見て疑問に感じたことを積極的に質問し、魚についての興味・関心を高めることができた。「板前さん、かっこいい！」という声が聞かれ、憧れの存在になった。また、昼食時には、捌いてもらったタラのすまし汁を試食し、海の恵みを味わった。



捌いているところを見ている様子



内臓を見せてもらっている様子



板前さんに質問している様子

◎成果と課題

(1) 成果

- ・自分たちで見つけた身近な海の魅力を多くの施設に紹介をしたことが、地元唐桑の海をより好きになるきっかけになった。また、交流を通していろいろな形状の海があることやそれぞれの違いを感じることができた。
- ・地元の施設や神社に行ったり魚の解体ショーを見たりしたことで、地域の人との交流を楽しみ、いろいろなことへの興味・関心を広げることができた。さらに、気付いたことや疑問に思ったことを積極的に質問し、教えてもらえる嬉しさと満足感を味わうことができた。

(2) 課題

- ・見学や体験だけで終わってしまった活動もあったので、その後の関わりやつながりを見据えた交流の仕方を検討する必要がある。